



新田南小学校だより



令和7年(2025年)9月12日発行

ちょっと、こっち来て~!!!

何げない日常。

朝一、校門のところで挨拶していましたが、この言葉。どこからの声かと思って見回すと、赤旗が立つ運動場階段前で、数人の子どもたちが手招きしています。

何かあったのかと急いで見に行くと、運動場に大きな水たまりができていて、その真ん中に朝礼台が浮かんでいるように見えます。

前の夜の大雨が原因なのでしょうが、「前はもっと大きな水たまりになっていたよ!」とロクに話す子どもたちの目はキラキラです。

雨が降れば当たり前のことですが、まさに子どもの心の目を見たときに、これはとても素敵なもの、びっくりするものに映ったのでしょうか。こうした子どもの感性は素敵で大好きなので載せてみました。



けっこう、むずい.....でも、



先日の3年図工の授業です。

グループで協働作業をする学習で、新聞紙を細く丸めて強い棒を作り、それを組み合わせて立体作品にします。その棒づくりを覗かせてもらいました。

どのクラスも1枚の新聞紙を丸めることに苦労する子どもの姿がありました。昭和生まれの私にとっては、子どもの頃祖母と一緒にティッシュでこよりを作ったり、広告を丸めて遊んだりすることは普通のことでした。最近は新聞を取らない家庭もあるし、経験として無いのかもしれないなと思いつつ、細く堅くできるまで何度も挑戦する子どもたちをだんだん応援したくなりました。そんな気持ちもどこ吹く風?子どもたちは時間とともにできる子が少しずつ増えていきます。丸め始めるところが細くしっかり巻くこと、そしてそれを最後まで維持できるかが鍵です。床の上で両手でゆっくり手前から向こうに押しながら頑張るのですが、どうしても後半は膨らんでいきます。そうこうしているうちに、できるようになった子どもたちが手伝ってあげたりして、細い棒がどんどん出来上がっていきます。みんな優しいです。殆どの子どもたちが個別に取り組んでいたのですが、あるクラスでは写真にあるように、複数で取り組むと上手くできることを発見して挑戦していました。

新聞を丸めること。たった一つの目的ではありますが、限られた時間の中で子どもたちは、どうやったら細く丸めることができるか、一人で試行錯誤したり、みんなの力を借りて頑張ろうとしたりしています。子どもの遊び感覚の中には、より楽しく、より良くしていこうとする学びの芽がたくさん詰まっていることを改めて感じました。

体調の変化にご用心.....

2学期がスタートして3週間が過ぎようとしています。暑さと疲れも相まって、体調を崩す子どもたちが出てきています。主に、発熱・嘔吐等の症状が多く見られるように思います。そのうち運動会の練習も始まりますので、子どもたちに急な体調の変化が見られましたら、しっかり体を休ませてあげてください。どうぞよろしくお願いいたします。